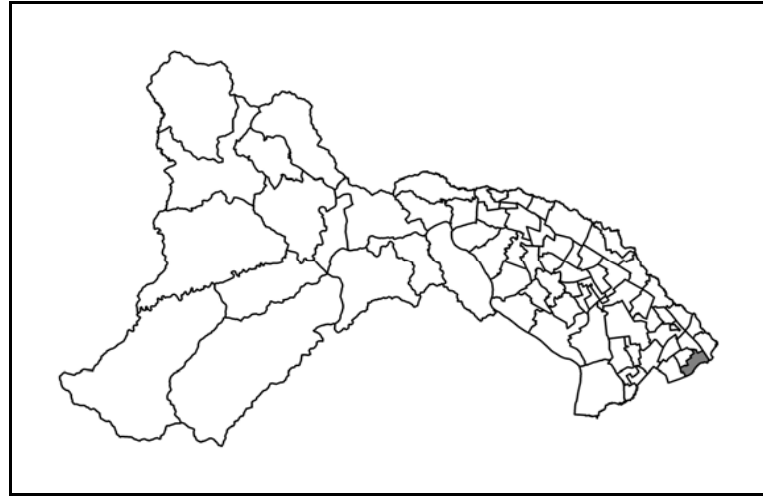


○地区を構成する町丁

【南区】上鶴間2丁目～5丁目・7丁目・8丁目、東林間6丁目～8丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野南(若葉, 鶴舞, 相模つきみ野, 自治会法人中和田), 東林(林間, 自治会法人南, 自治会法人相和, 上鶴間, 自治会法人東林間)

○地区概況

台地(上段)にあり、大部分は平坦な地形である。北東部を深堀川が流れ、深堀川沿いは急傾斜地になっている。地区の東縁を国道16号が通っている。中央を水道道緑道が東西に、西部を小田急江ノ島線が南北方向に通っている。大部分は住宅地である。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)	
	区分	棟数		
建物	木造(昭和55年以前)	1,172 棟		
	木造(昭和56年以降)	1,824 棟		
	非木造(昭和55年以前)	115 棟		
	非木造(昭和56年以降)	421 棟		
	合計	3,532 棟		
人口	区分		人口(人)	
	区分	人口		
	0～4歳	426 人		
	5～64歳	9,058 人		
	65歳以上	3,435 人		
合計	12,919 人			

○所見

- ・避難所が地区内に3箇所あり、避難は比較的容易である。
- ・広域避難場所は避難所と共通で地区内に1箇所あり、避難距離が短い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	東林分署
消防団詰所	
病院等	佃医院
主な災害時要援護者施設	特別養護老人ホーム清菊園
幼稚園、保育園	相模林間幼稚園, くぬぎ台保育園
学校、大学	東林中学校, 上鶴間中学校, 上鶴間小学校
避難所	上鶴間小学校, 上鶴間中学校, 東林中学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	上鶴間小学校・上鶴間中学校
防災備蓄倉庫	※東林分署, 東林中学校, ※上鶴間小・中学校, 上鶴間小学校, 上鶴間中学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	255 棟	7.2 %	6 棟	0.2 %	74 棟	2.1 %
建物焼失	54 棟	1.5 %	3 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	17 人	0.1 %	0 人	0.0 %	5 人	0.0 %
閉込者	82 人	0.6 %	2 人	0.0 %	24 人	0.2 %
重傷者	16 人	0.1 %	0 人	0.0 %	5 人	0.0 %
軽傷者	91 人	0.7 %	13 人	0.1 %	52 人	0.4 %
避難所避難者(当日)	655 人	5.1 %	39 人	0.3 %	213 人	1.6 %
避難所避難者(1週間後)	1,196 人	9.3 %	222 人	1.7 %	688 人	5.3 %

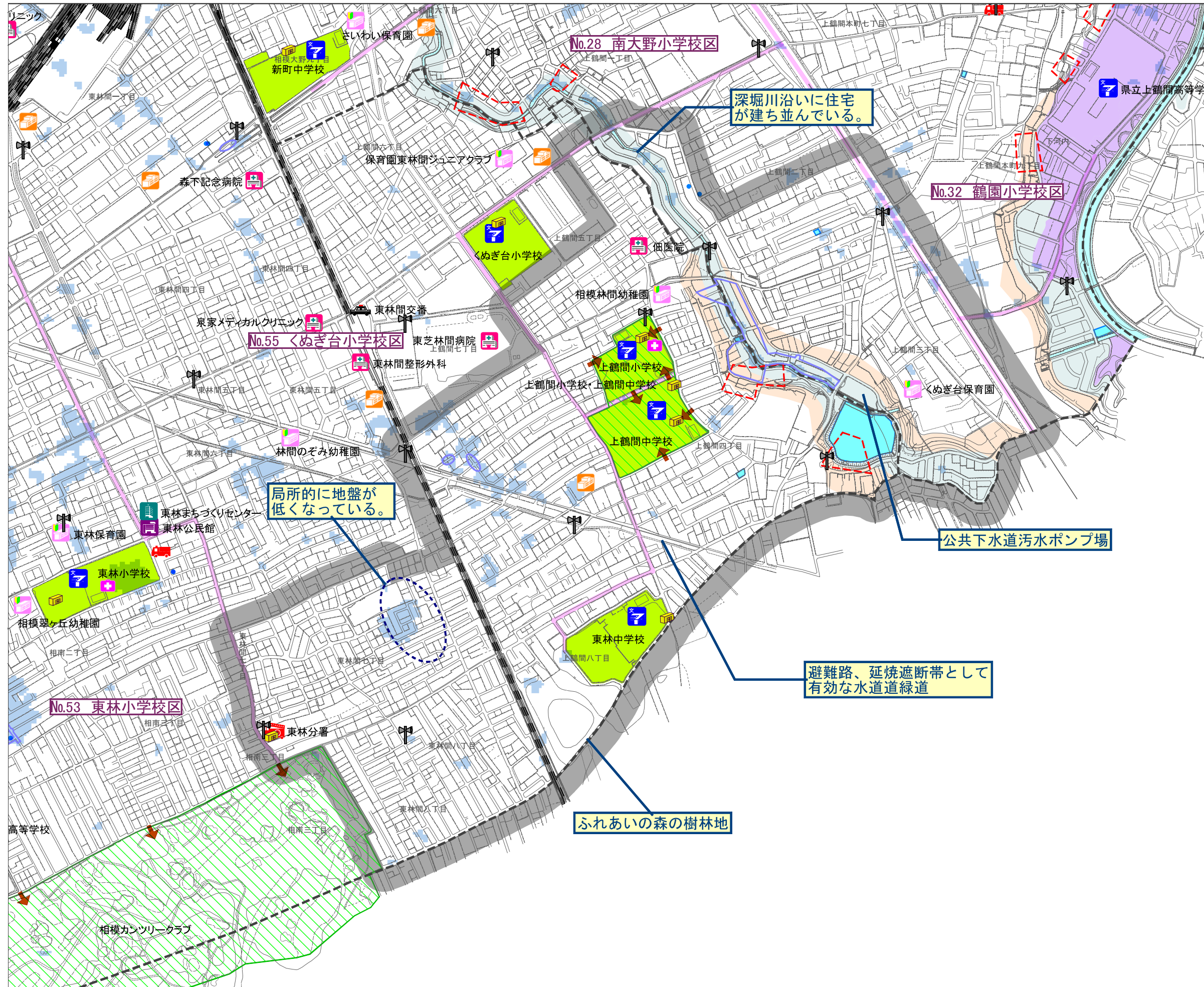
○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 3年 9月19日 床下浸水1戸





凡例

防災関連施設等	
	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類	
	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴	
	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等	
	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:7500

